

学校教育目標 「学ぶ楽しさ 生きる喜び 瞳かがやく浅小っ子」

～特認校「失敗こそ成長のエンジンだ！」～

合い言葉「浅内小は家族」



あさな い

浅小HP

令和6年9月6日（金）No.14

文責：校長 三洲 龍太

ふれあおう海、山、友だち…



9月4日（水）5日（木）、あきた白神体験センターで、4・5年宿泊体験学習を行いました。今回の宿泊体験学習は、「ふれあおう！海、山、友だち…」をテーマに、シーカヤック体験や磯遊び、里山散策等、八森の雄大な自然を舞台に、仲間との集団生活を通して、様々なことを学びました。

今回、とてもよかった点をいくつか挙げます。

一つ目は「挨拶」です。今回の二日間の活動は、本校以外の小・中学校も宿泊していましたが、他校の教員や児童生徒に対して、自分たちから挨拶していた子どもが多かったです。

二つ目は「規律ある生活」です。どの部屋も21時には消灯し、翌朝早く目覚めても、廊下で騒ぐ子どもがいませんでした。各自が部屋で荷物を整理したり、部屋に掃除機をかけていたりしたこともすばらしいと思いました。

三つ目は「仲間のよさの発見」です。今回は、2学年混合のグループ編成でしたが、5年生がリーダーとなり、協力して集団生活をすることができました。その中で、今まで気付かなかった仲間のよさに気付き、より仲よく活動している場面が見られました。



また、今後も各家庭とともに育てていかなければならない課題もあります。

一つ目は「偏食」です。今回、様々な活動をしてお腹が空いていたことや、お菓子等の間食をしなかったこともあり、普段より量的に多く食べたと思います。ただ、嫌いなものを一口も食べずに近くの友だちにあげていた子どももいたため、今後、子どものうちから様々な味付けを少しでもいいので経験させていけたらと思っています。このことの繰り返しにより、大人になってから普通に食べられるようになるものもあるからです。

二つ目は「体力」です。二日目の里山散策は、1時間半程度で散策できる楽なコースを選択しました。しかし、暑かったこともあり、「もうだめ」と弱音を吐く子どももけっこういました。今後、生きていく上で重要な体力づくりも課題だと思いました。

今回、子どもたちを大きく成長させることは「成功体験」だと改めて実感しました。このことは、ロケット団報 No.25 で特集します。今回の体験学習は、子どもたちにとって、大きな成長につながる二日間となりました。

